

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年12月28日更新

事務事業名		国保運営協議会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	野口 政浩	
	施策	5	健康づくりの推進			所属課	保険年金課	担当者名	宮崎 淳子	
	施策の柱	22	保険医療制度の健全な運営			所属班	保険年金班	(内線)	1173	
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	国民健康保険法第11条		成果優先度評価結果	: ⑫
	国保	1	3	1	10388				コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・国民健康保険法第11条により設置。市長から諮問のあった国保事業の運営に関する重要事項について審議し、その結果の意見を市長に答申する。組織=被保険者を代表する委員4名、保険医又は保険薬剤師を代表する委員4名、公益を代表する委員4名及び被用者保険等保険者を代表する委員1名によって構成。任期=2年・国民健康保険法の定めによる。 ・財政運営は医療費の増加に伴い非常に厳しい状況にある。
【業務の流れ】	委員選任事務、会の開催通知、会の運営事務、報酬費用弁償の支払い事務等
【主な予算費目】	報酬、旅費(費用弁償)
【意見や要望】	法で設置を定められたものであり、特段意見や要望は出ていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	国保予算及び決算関係の諮問についての運営協議会を2回開催。国保連合会主催の委員研修会へ1回参加。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		諮問に応じた運営協議会を2回開催、国保連合会主催の委員研修会へ1回参加。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 開催回数	回	開催回数の減
→ イ: 参加人員(延べ)	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国保財政	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 千円
		→ ア: 予算額
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	事業運営の重要事項を審議することによって国保財政を健全なものにする。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 千円
		→ ア: 単年度収支額
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
単年度収支額が国保財政の健全性を計る指標となる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度	28年度	29年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 回		2	3	4	2	3	3	3	3	
	イ 人		21	22	52	20	39	39	39	39	
② 対象指標	ア 千円	7,385,953	7,174,972	7,430,000	7,470,657	6,500,000	6,500,000	6,500,000	6,500,000		
	イ										
③ 成果指標	ア 千円	135,680	103,972	10,000	201,494	1,000	1,000	1,000	1,000		
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円	154	138	308	119	308	231	231	231
	人件費	(A) 事業費計	千円	154	138	308	119	308	231	231	231
		(A)のうち指定経費	千円	97	90	193	75	145	97	97	97
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	110	120	100	120	100	100	100	100
	(B) 人件費計	千円	408	0	0	474	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	562	138	308	593	308	231	231	231	

事務事業名	国保運営協議会運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	保険年金課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 運営協議会の開催が2回で済んだため	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成24年度から医療費分国保税を増額し、更に一般会計からの法定外繰入を実施しているため達成できる見込みである。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 成果の向上余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国民健康保険法の定めによる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要な費用は会議の報酬、費用弁償のみである。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市長の諮問に応じて開催されるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国民健康保険加入者すべてに関係している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 委員は住民の代表である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成23年度で基金が枯渇してしまい平成24年度以降は歳入不足となっており、医療費分の国保税の増額を行っていたが、それでも不足している分について、一定のルールにより一般会計からの法定外繰入を実施している。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					